

研究の全体構想

児童の実態 重点目標にかかわって

- 相手を思いやり、励まし合い、共に高まり合おうとする姿が育ちつつある。
- 地域の行事には多くの児童が進んで参加し、地域の文化や生活に親しむことができる。
- △生命の大切さについて理解しているものの、日常生活の中で、命あるものを大切にしようとする姿に弱さがみられる。
- △積極的に仲間と関わり合って活動しようとする姿がやや弱い。

学校の教育目標

考える子
心豊かな子
元気な子

学校課題

- ・自己の感情や行動を統制し、仲間と共に高まり合い、人間尊重の精神を基盤とした他を思いやる心を育成し、夢と希望をもって生活すること。
- ・「一家庭一ボランティア」を通して家庭や地域の教育力を生かし、「ふるさと揖斐」の誇りを醸成する心情を育成すること。
- ・心身ともに健康であることの価値を認識し、生き方についての考えや自覚を深め、自他の生命を尊重する態度を育成すること。

重点項目

- ・親切・思いやり
- ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する心
- ・生命の尊さ

研究主題

人としての生き方について考えを深め、よりよく生きようとする子

願う子どもの姿

自己の生き方についての考えを深め、日常生活の中や様々な問題場面に出会ったとき、道徳的価値を実現するために、主体的な判断に基づいて道徳的实践を行うことができる子

研究仮説

重点項目を中核とした年間指導計画に基づき、道徳的価値について自己との関わりで捉え、他者と対話したり協働したりしながら、物事を多面的・多画的に考え、道徳的实践意欲と態度を発揮できる適切な場を設定すれば、道徳性を身につけた自立した児童を育成することができるであろう。

道徳科

研究内容

- 1 よりよく生きようとする子の育成を目指した教育活動の工夫
 - ①ポジティブ行動支援に基づいた教育活動の推進
- 2 指導方法の工夫
 - ①仲間の多様な考え方や感じ方に触れ、確かな自己理解をするための話し合い活動の工夫
 - ②自己を見つめ、道徳的価値の大切さを感じるための展開後段・終末の工夫